花たば通信

ボランティア　元気な内は人のため　いつか自分が感謝する

No.79　2018 年 10 月号

発行　NPO 花たば
〒657-0831 神戸市灘区水道筋 6-7-14
電話 078-801-6632　FAX 078-801-6780
NPO 花たば　検索

コミュニティハウス花たば竣工 10 周年の記念行事

メインの講演会と祝賀会の内容が決定!

①　11 月 4 日(日)は講演会!

竟(つい)の棲家とは…

自分らしく生き抜き、どこで暮らすのか

講演　小島ブンゴード孝子さん

●日時　11 月 4 日(日)　14 時～
●場所　花たば 1 階　(ろっこう医療生協なだ組合員集会室)

＊参加費無料

＊NPO 花たばを結成し、住宅建設までの 4 年間を含め、「人として自分らしく生きる」ために大事にしたいことを考えてきました。働くという時代を過ぎて生涯を全うするまでの時期を、周囲の人とかかわりを持ちながらこころ豊かに過ごせる場所は、自分が自分らしく居られる場所は、どんな場所なのか。又、どういう支え合いがあれば可能なのかなど、手探りの中でコミュニティハウス花たばを運営してきたと言えます。

＊10年の節目を迎えて、もう一度皆さんと一緒に基本に戻り、明日を考えたいと思います。そう、皆さんご自身の「私にとって」どんな竟の棲家を求めるのか、人として自分らしく生き抜くことができるのかを。

＊私たちの活動を最初から応援していただいた小島ブンゴード孝子さん(デンマーク在住)から久しぶりのお話を聞いて、明日を考えていきましょう。

② 11 月 18 日（日）は祝賀会!

ご 案 内

10 年を皆さんと一緒にお祝いします。楽しい時間を過ごしましょう。

■日時　11 月 18 日（日）　正午開宴～午後 2 時お開き

受付・開場は　午前 11 時 30 分

■会場　ホテル北野プラザ六甲荘

2 階　レモンバームの間

■参加費　5.000 円

申し込みは、10 月 31 日（水）までに
花たば事務所にご連絡ください。

■主な内容

・乾杯とお食事

・これまでの日々（主として 5 周年以降）を映像で振り返る

・10 年を寿いで　太神楽・獅子舞

豊来家玉之助さん

・10 年表彰

・みんなで歌いましょう

お開き　・　記念のお土産をお渡しします。

※当日、JR 三ノ宮駅と会場ホテルの送迎バスが用意されます。参加者を申し込んでいただいた方には地図と合わせて詳しいご案内をお渡しします。

海外旅行も企画中！

台風による被害を受けた関西国際空港も復活。ようやく各種のプランが出始めました。台湾（3 泊 4 日）、またはシンガポール（4 泊 5 日）か…。時期は来年 2 月下旬から 3 月上旬ころを念頭に実行委員会が検討中です。お楽しみに！

踊って踊って
汗かきました～！

8月4日、恒例の納涼夏祭りを開催しました。

今年は例年に比べ、参加者が少なくなりましたが、猛暑・酷暑を跳ね飛ばせとばかり盆踊りは最後まで大盛り上がり！ 笑って、汗を流しての納涼会となりました。また、浴衣の参加者も増え今年は9人。来年はあなたもいかがですか？

テーブルには手作りの料理も並び、おしゃべりの花がたくさん咲いたことは言うまでもありません！

案内板

お茶処花たば

●ようやく暑さも過ぎて、秋の気配をそこここに感じるようになってきました。
お茶処もスタッフの皆さんが張り切ってメニューを考え、皆さんのご利用をお待ちしています。一人でお越しいただいた方もいつの間にか他のお客さんと仲良くなれる、そんなお茶処でありたいと頑張っていますので、気軽に訪ねてくださいね！

お昼の定食　　月・火・水・金（第５週は喫茶のみ）
木曜日はクロワッサンサンド 200 円

お茶処の定番　コーヒー・紅茶 100 円　　アイスクリーム 100 円
トースト 100 円　　サラダ 100 円　ぜんざい 100 円

●これからのイベント情報

毎月第２木曜日（原則）の午後２時から開くミニイベント（お茶とお菓子付き300円）もすっかりお馴染みになっています。これから年末までの予定は次の通りです。

10 月 11 日（木）紙芝居
11 月 ８日（水）マリアハープ演奏
12 月 ６日（木）手品と南京玉すだれ

ほっと花たば

夏物へのご協力ありがとうございました。

もう次の季節が、あっという間にやってきます。秋・冬物のリサイクル品の提供にご協力をお願いします。会員さんの手作り作品コーナーも、どんどん充実しています。

少し散歩もしやすい季節になりました。歩数を少し増やそうか、そんな散歩の立ち寄り先にほっと花たばのお店はどうでしょう。

おしゃべりも楽しんでいってください！

編集後記　９月 21 日は世界アルツハイマーデー。認知症への理解を呼びかけるため国際アルツハイマー病協会（ADI）が定め、各国で啓発が行われる。日本でも ADI に加盟する「認知症の人と家族の会」などが主催し、太陽の塔（万博記念公園）を認知症支援の象徴であるオレンジ色にライトアップしたのをはじめ、各地で取り組みがあった。「認知症の人が自分らしく生きていける社会が求められている。そのために何ができるかを考えるきっかけに」との思いは、私たちも自分のこととしてしっかり受け止めたい。出来なくなることもあるけれど出来ることも多くある。何より生きてきた経験とそこで形成された人格はなくなってはいない。終の棲家を考えるとき、自分を大事に生き抜くためには他者もまた人として大事にされなければならないことを忘れないでいたいものだ。社会の有形無形の仕組みにも関心を持ち、声をあげていこう。（H.O）